

請求の範囲

- [請求項1] 熱硬化性樹脂を含有し、素子を封止するための封止用樹脂シートであり、
- 下記の条件に基づく温度分散の動的粘弾性測定〔1〕で、前記封止用樹脂シートの複素粘度 η^* を評価し、
- 温度 : $50^{\circ}\text{C} \sim 150^{\circ}\text{C}$
- 周波数 : 1 Hz
- 昇温速度 : $10^{\circ}\text{C}/\text{分}$
- モード : せん断
- 50°C における複素粘度 $\eta^*_{\text{at } 50^{\circ}\text{C}}$ に対する、 $80^{\circ}\text{C} \sim 120^{\circ}\text{C}$ における最低複素粘度 $\eta^*_{\text{MIN at } 80 \text{ to } 120^{\circ}\text{C}}$ の比 ($\eta^*_{\text{MIN at } 80 \text{ to } 120^{\circ}\text{C}} / \eta^*_{\text{at } 50^{\circ}\text{C}}$) が、 0.170 以上であることを特徴とする、封止用樹脂シート。
- [請求項2] 前記温度分散の動的粘弾性測定〔1〕において、 $50^{\circ}\text{C} \sim 150^{\circ}\text{C}$ の温度範囲における第2最低複素粘度 $\eta^*_{\text{MIN at } 50 \text{ to } 150^{\circ}\text{C}}$ に対応する温度 T が、 $80^{\circ}\text{C} \sim 120^{\circ}\text{C}$ の範囲にあることを特徴とする、請求項1に記載の封止用樹脂シート。
- [請求項3] 前記温度 T における貯蔵せん断弾性率 G' に対する、損失せん断弾性率 G'' の比 (G'' / G') が、 0.4 以下であることを特徴とする、請求項2に記載の封止用樹脂シート。
- [請求項4] 熱硬化性樹脂を含有し、素子を封止するための封止用樹脂シートであり、
- 下記の条件に基づく周波数分散の動的粘弾性測定〔2〕で、前記封止用樹脂シートの複素粘度 H^* を評価し、
- 温度 : 90°C
- 周波数 : $0.01\text{ Hz} \sim 10\text{ Hz}$
- モード : せん断
- 周波数 0.01 Hz における複素粘度 $H^*_{\text{at } 0.01\text{ Hz}}$ に対する、周波数 10 Hz の複素粘度 $H^*_{\text{at } 10\text{ Hz}}$ の比 ($H^*_{\text{at } 10\text{ Hz}} / H^*_{\text{at } 0.01\text{ Hz}}$) が、 $0.$

0020以下であることを特徴とする、封止用樹脂シート。

[請求項5] 前記温度分散の動的粘弾性測定〔1〕において、50℃～150℃の温度範囲における第2最低複素粘度 $\eta^*_{\text{MIN at 50 to 150}^\circ\text{C}}$ に対応する温度Tが、80℃～120℃の範囲にあることを特徴とする、請求項4に記載の封止用樹脂シート。

[請求項6] 前記温度Tにおける貯蔵せん断弾性率G'に対する、損失せん断弾性率G''の比（G''／G'）が、0.4以下であることを特徴とする、請求項5に記載の封止用樹脂シート。